



学習の成果を実務に活かすことができました

加藤 春花 (かとう はるか)

受講講座：日商簿記検定講座3級コース
勤務先：青森県西北地域県民局県税部

この度は、文部科学大臣賞という栄誉を賜り、大変光栄に存じます。

職場で税務に携わって5年目となるのですが、これまで簿記の学習をしたことがありませんでした。税務経験を重ねるなかで、税計算はもちろんのこと、私は徴収部門におりますので、法人の経営状況を把握するうえでも簿記の知識を深めたいと思い、簿記3級の取得を目指すことにしました。

通信教育で資格取得を目指すのは初めてだったので、当初は普通の業務をこなしながら自分自身の裁量で学習を進められるか心配でしたが、本講座はそのような場合でも学習しやすい内容となっていました。理由として、第一に、テキストが書店のものに比べてすっきりまとまっており、学習しやすかったこと。第二に、月1回ペースで提出するレポートがあるため、計画的に学習を進められたこと。このレポートは講師の方が添削をしてくれるため、自分の学習の進捗状況を把握することにも役立ちました。第三に、テキストだけでなく模擬問題も送られてくるため、実際の試験を想定した学習も可能であること。これらのポイントがあることで、仕事をしながらも計画的にかつ効率的に簿記の学習を進めることができました。

私が実践した学習法は、テキストの章ごとに大まかな内容を掴んだあと、テキストと突き合わせながら練習問題を解いていき、理解が深まったところでレポートの問題に取り組む、というものでした。試験の1か月前には模擬問題に取り組み、つまづいた

ところがあればテキストを繰り返し見直して復習をしました。試験当日は「これだけやったんだから大丈夫!」という自信とともに問題に取り組むことができ、無事簿記3級の取得という目標を達成することができました。

試験の後、業務で法人の決算書を見る機会があったのですが、講座受講前よりも決算書の内容を理解でき、簿記学習の成果を実感しました。実務に簿記の知識を活かすことができ、大変嬉しかったです。講座で使用したテキストは今後の業務の必要な場面で見返せるよう、今でも職場の机に置いています。

結びに、ご指導いただいた講師の方をはじめ、日本通信教育学園の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。また、簿記試験の受験を応援してくれた職場の皆様にも感謝いたします。今後も自己研鑽に努めて参ります。ありがとうございました。